

資料3 高齢者実態調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

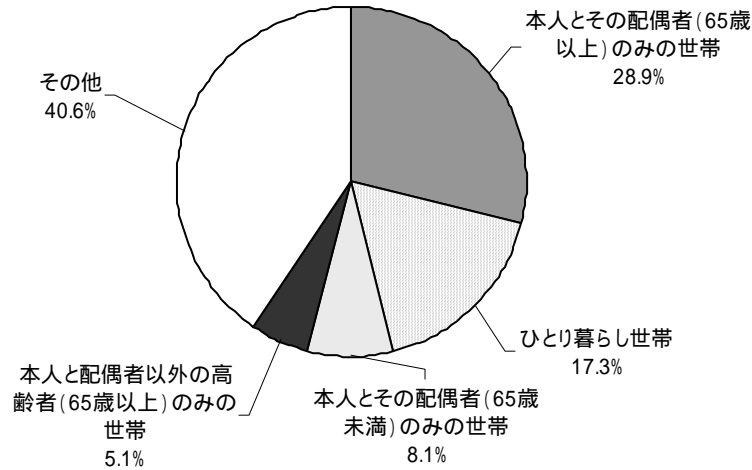
平成 17 年度における高齢者総合福祉計画（介護保険事業計画・老人保健福祉計画）の改定にあたり、介護保険の要介護等認定高齢者の実態、介護サービスの利用状況、今後の利用意向等を把握し、計画策定にあたっての基礎資料とする。

(2) 調査の種類

	在宅高齢者	介護支援専門員
調査対象	在宅の要介護等認定者の半数	市内の要介護等認定者を担当する介護支援専門員
標本数	2,966	164
回収結果	1,852 62.4%	152 92.7%
抽出方法	無作為抽出	全件
調査方法	郵送配付・回収	郵送配付・回収
調査時期	平成 16 年 12 月～平成 17 年 2 月	

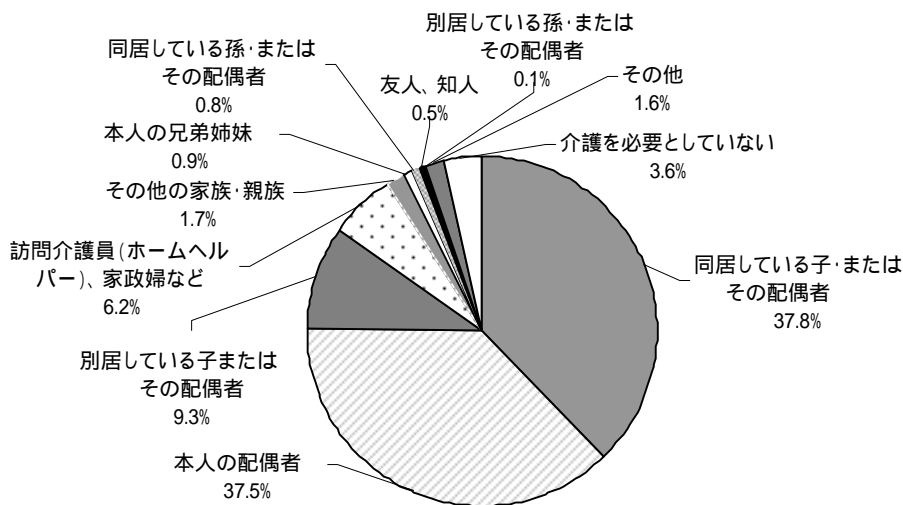
2 在宅要援護高齢者調査結果の概要

(1) 調査対象者の状況 世帯状況



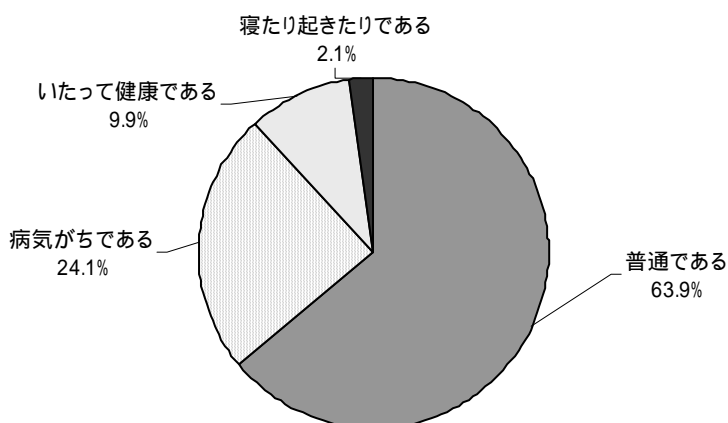
主な介護者

主に介護をしている人は、「同居している子・またはその配偶者」が37.8%と最も多く、次いで「本人の配偶者」が37.5%、「別居している子・またはその配偶者」9.3%の順となっています。



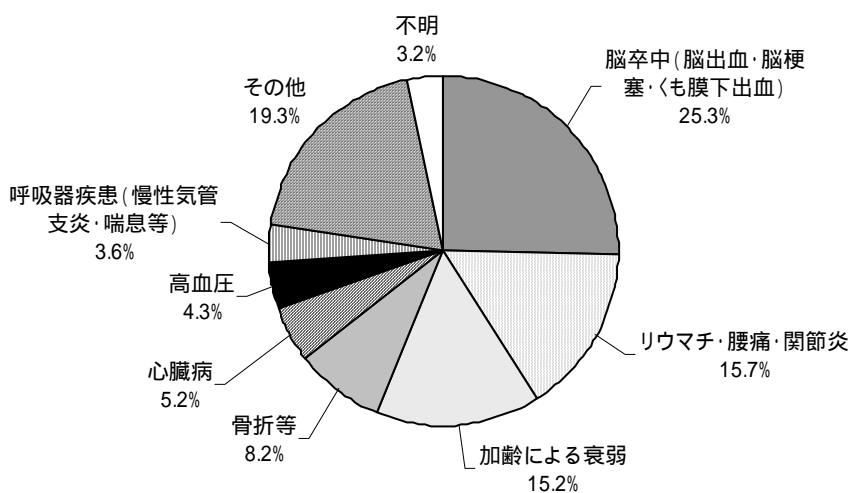
主な介護者の健康状態

主に介護をしている人の健康状態については、「普通である」が63.9%と最も多く、次いで「病気がちである」が24.1%、「いたって健康である」が9.9%となっています。



現在の状態になった原因

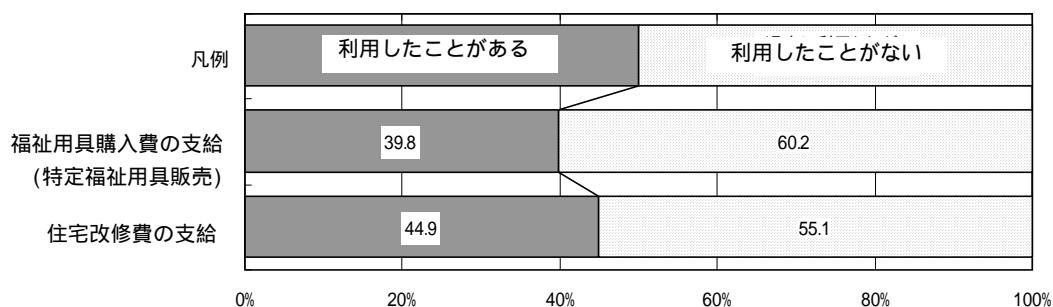
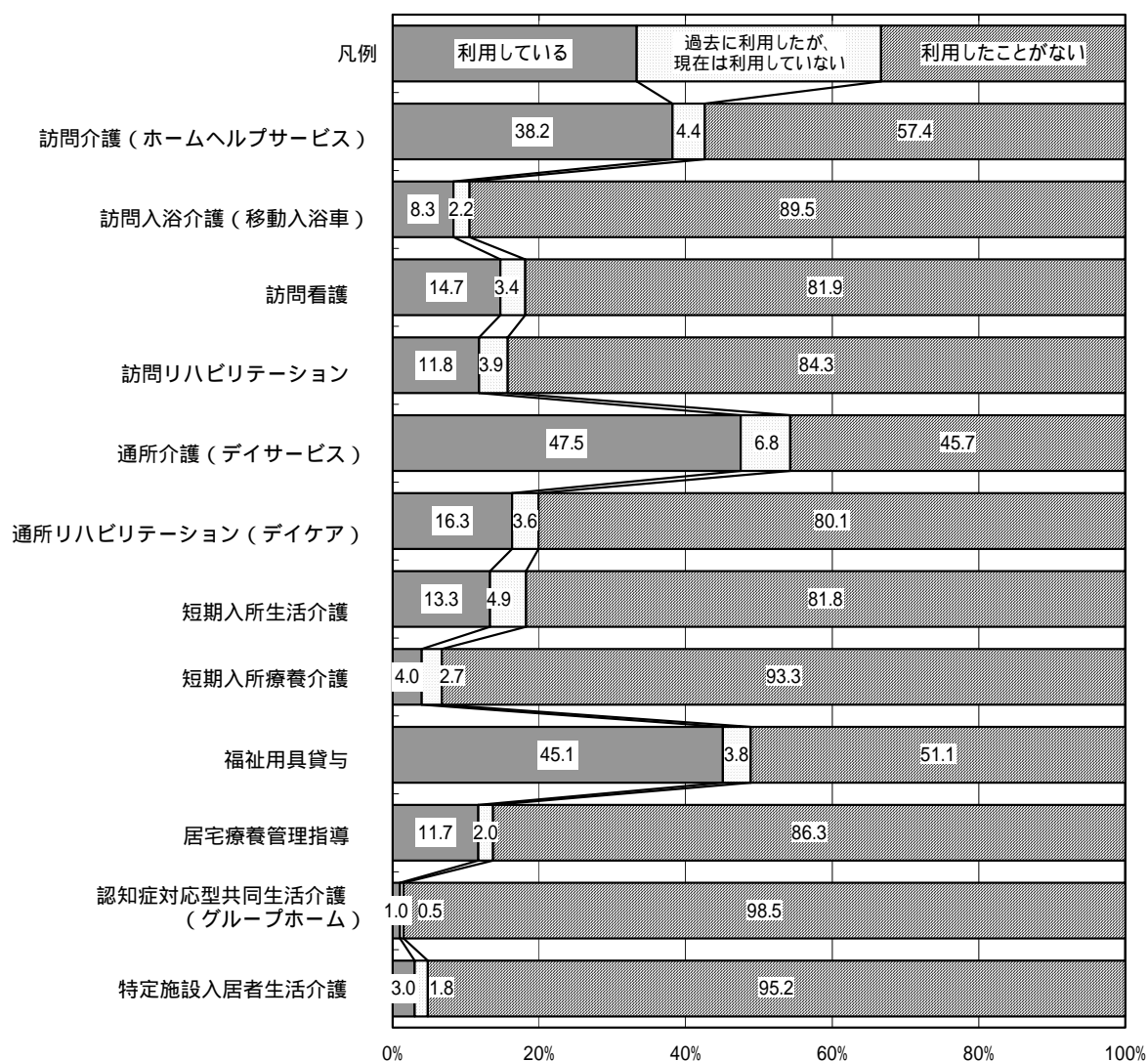
現在の状態になった原因については、「脳卒中(脳出血・脳梗塞・くも膜下出血)」が25.3%と最も多く、「リウマチ・腰痛・関節炎」が15.7%、「加齢による衰弱」が15.2%となっています。



(2) 福祉サービス等の利用 介護保険サービスの利用状況

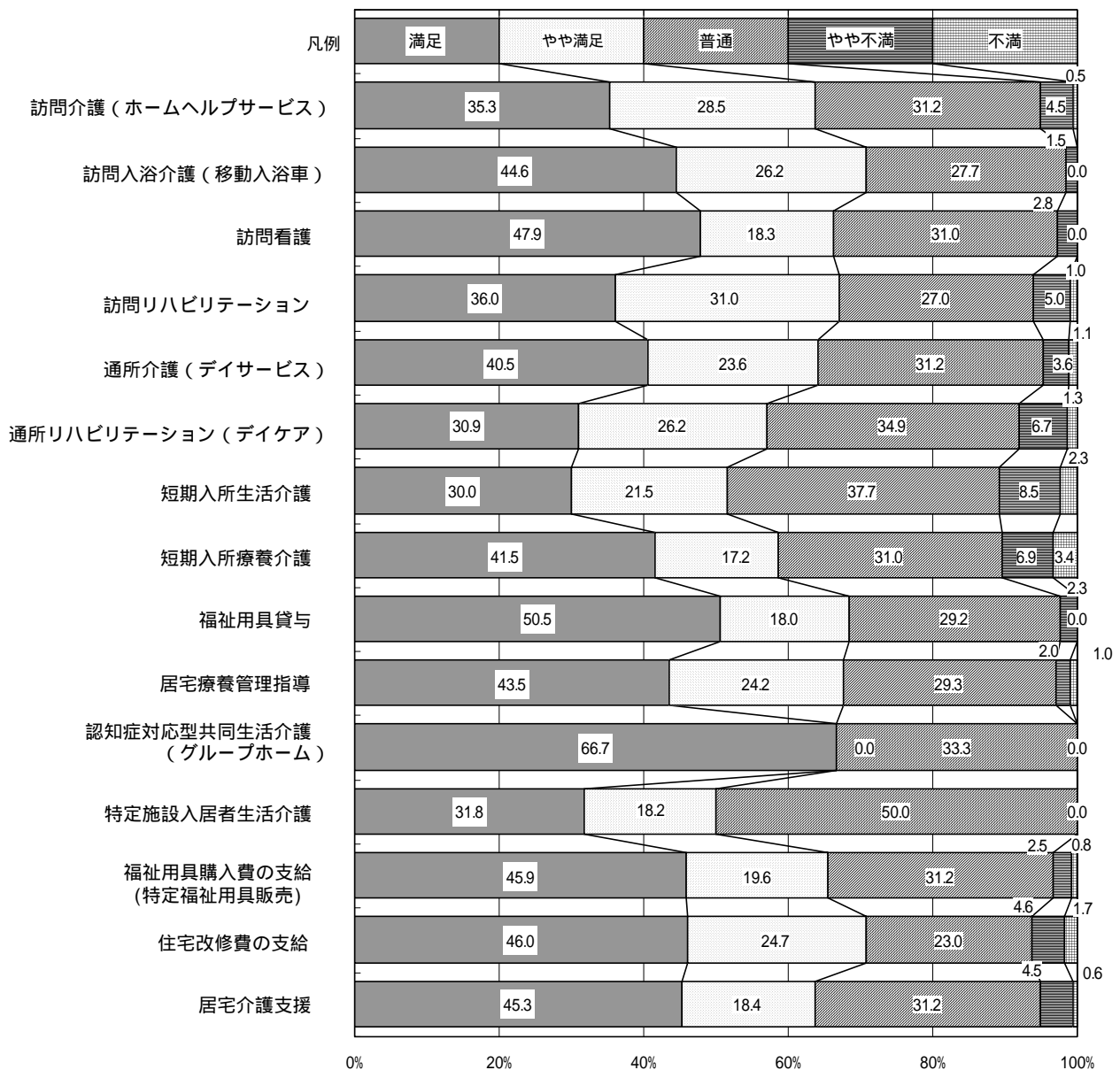
介護保険サービスの利用状況については、「通所介護（デイサービス）」が47.5%と最も多く、次いで「福祉用具貸与」が45.1%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が38.2%となっています。

また、「福祉用具購入費の支給」については39.8%、「住宅改修費の支給」については44.9%の人が利用しています。



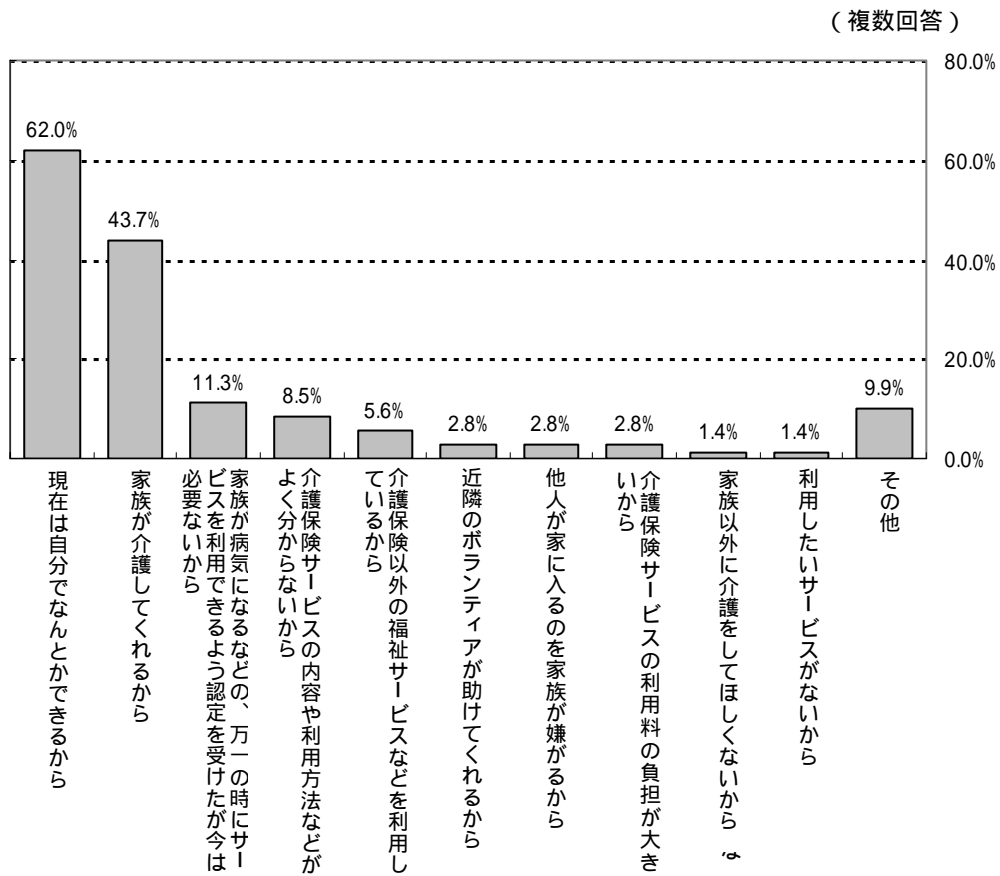
介護保険サービスの満足度

介護保険サービスの満足度について、「満足とじている人」(「満足」と「やや満足」の合計)は、「訪問入浴介護」が70.8%と最も多く、次いで「住宅改修費の支給」が70.7%「福祉用具貸与」が68.5%、「居宅療養管理指導」が67.7%の順となっています。



介護保険サービスを利用していない理由

今までに一回も介護保険サービスを「利用したことがない」人のサービスを利用していない理由については、「現在は自分で何とかできるから」が62.0%と最も多く、次いで「家族が介護してくれるから」が43.7%、「家族が病気になるなどの、万一の時にサービスを利用できるよう認定を受けたが今は必要ないから」が11.3%の順となっています。

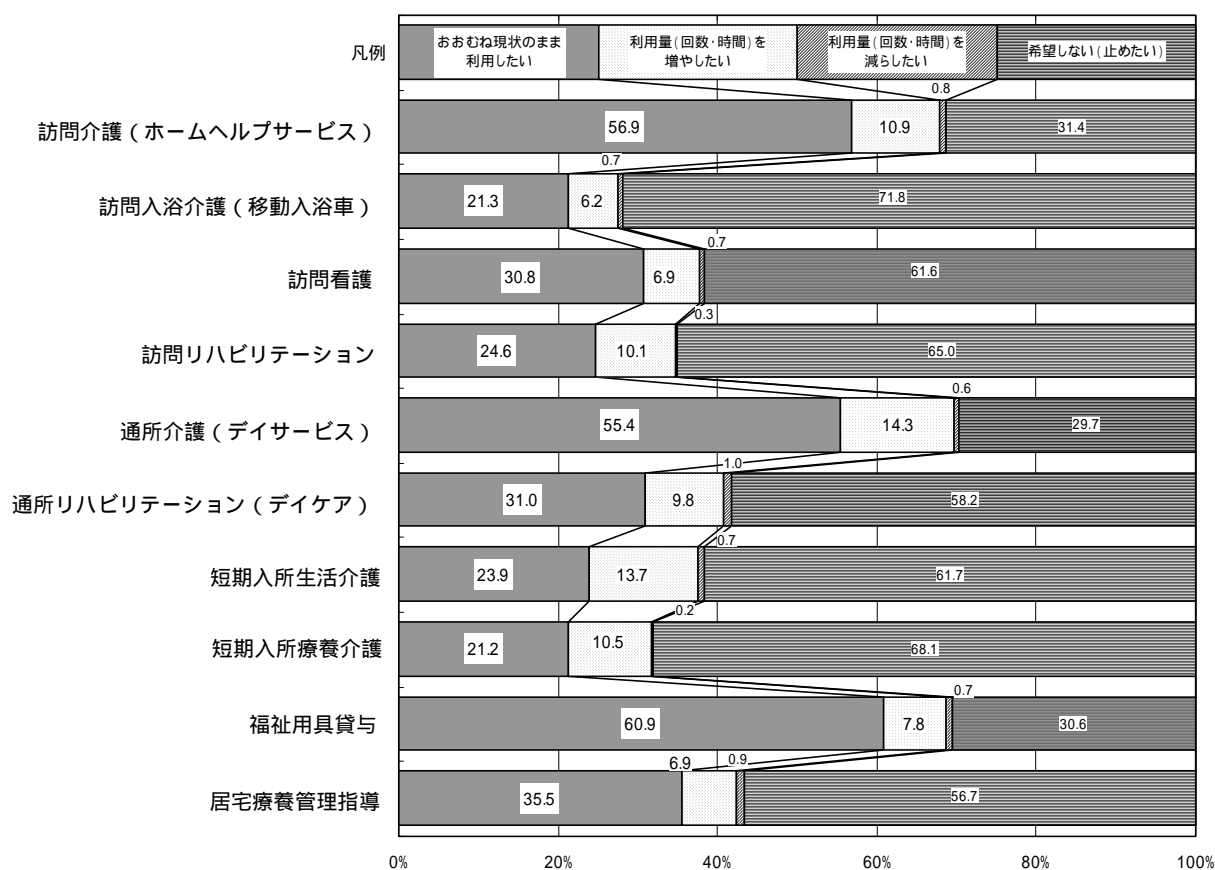


介護保険サービスの今後の利用意向

介護保険サービスの今後の利用意向について、「おおむね現状のまま利用したい」サービスは、「福祉用具貸与」が60.9%と最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が56.9%、「通所介護（デイサービス）」が55.4%となっています。

また、「利用量（回数・時間）を増やしたい」サービスは、「通所介護（デイサービス）」が14.3%と最も多くなっています。

さらに、「希望しない（止めたい）」サービスは、「訪問入浴介護」が71.8%、次いで「短期入所療養介護」が68.1%、「訪問リハビリテーション」が65.0%となっています。

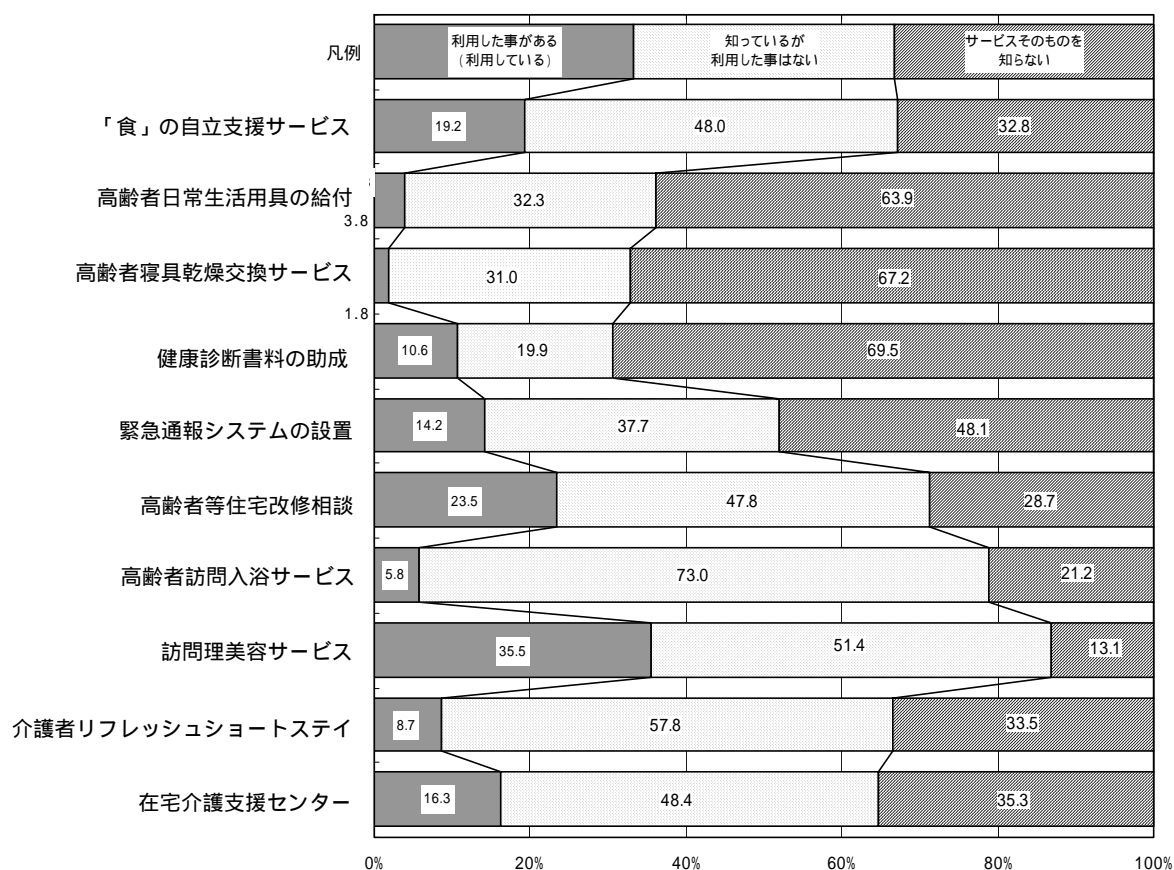


介護保険対象外のサービスの利用状況

介護保険対象外のサービスの利用状況について、「利用したことがある」サービスは、「訪問理美容サービス」が35.5%と最も多く、次いで「高齢者等住宅改修相談」が23.5%、「食」の自立支援サービスが19.2%となっています。

また、「知っているが利用したことはない」は、「高齢者訪問入浴サービス」が73.0%と最も多く、次いで「介護者リフレッシュショートステイ」が57.8%、「訪問理美容サービス」が51.4%となっています。

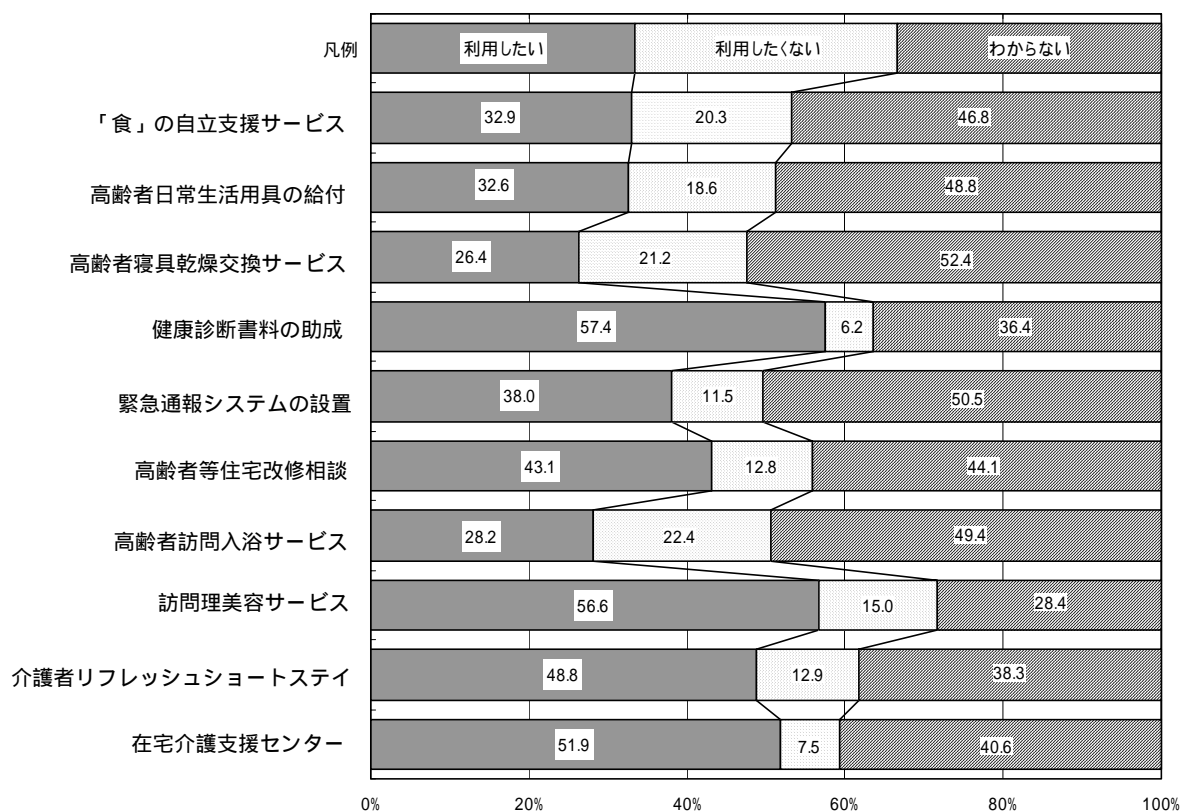
なお、「サービスそのものを知らない」ものとして、「健康診断書料の助成」が69.5%と最も多く、次いで「高齢者寝具乾燥交換サービス」が67.2%、「高齢者日常生活用具の給付」が63.9%となっています。



介護保険対象外のサービスの利用意向

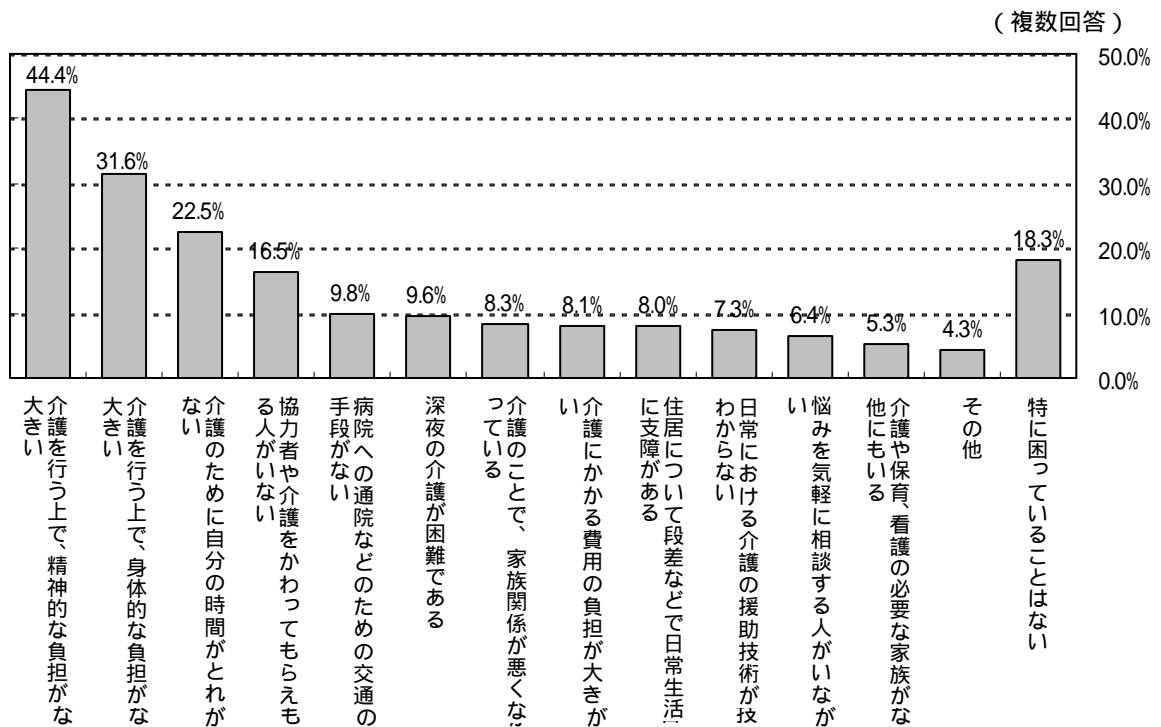
介護保険対象外のサービスの利用意向について、「利用したい」サービスは、「健康診断書料の助成」が57.4%と最も多く、次いで「訪問理美容サービス」が56.6%、「在宅介護支援センター」が51.9%となっています。

その一方で、「利用したくない」サービスは、「高齢者訪問入浴サービス」が22.4%と最も多く、次いで「高齢者寝具乾燥交換サービス」が21.2%、「食」の自立支援サービス」が20.3%となっています。



介護をする上で困っていること

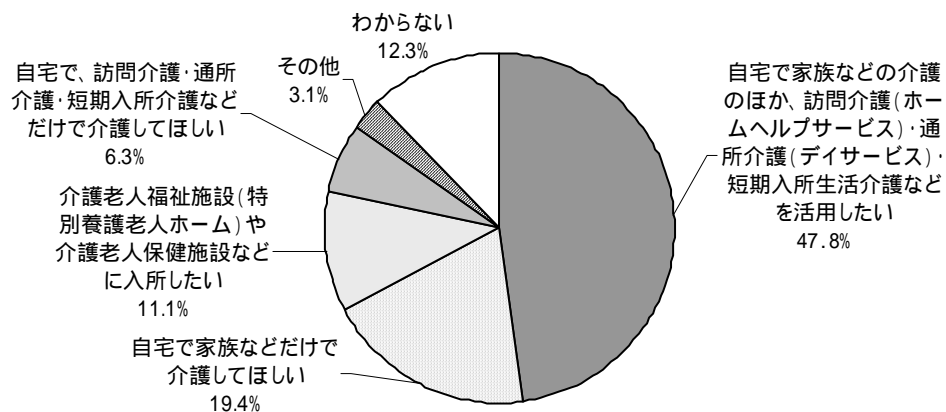
主に介護をしている人が介護をする上で困っていることについては、「介護を行う上で、精神的な負担が大きい」が44.4%と最も多く、次いで「介護を行う上で、身体的な負担が大きい」が31.6%、「介護のために自分の時間がとれない」が22.5%の順となっています。



今後どのように介護してほしいか

要介護者として今後どのように介護してほしいかについては、「自宅で家族などの介護のほか、訪問介護(ホームヘルプサービス)・通所介護(デイサービス)・短期入所生活介護などを活用したい」が47.8%と最も多く、次いで「自宅で家族などだけで介護してほしい」が19.4%となっています。

その一方で、「わからない」が12.3%となっています。

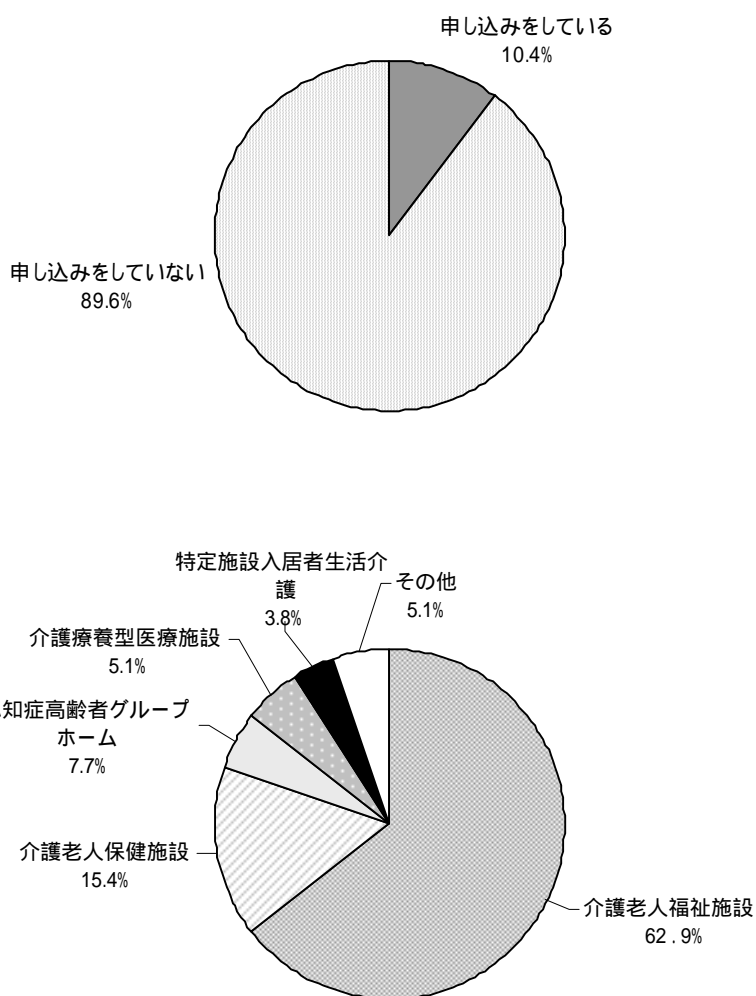


(3) 施設等への入所申し込み状況

施設等への入所申し込み状況

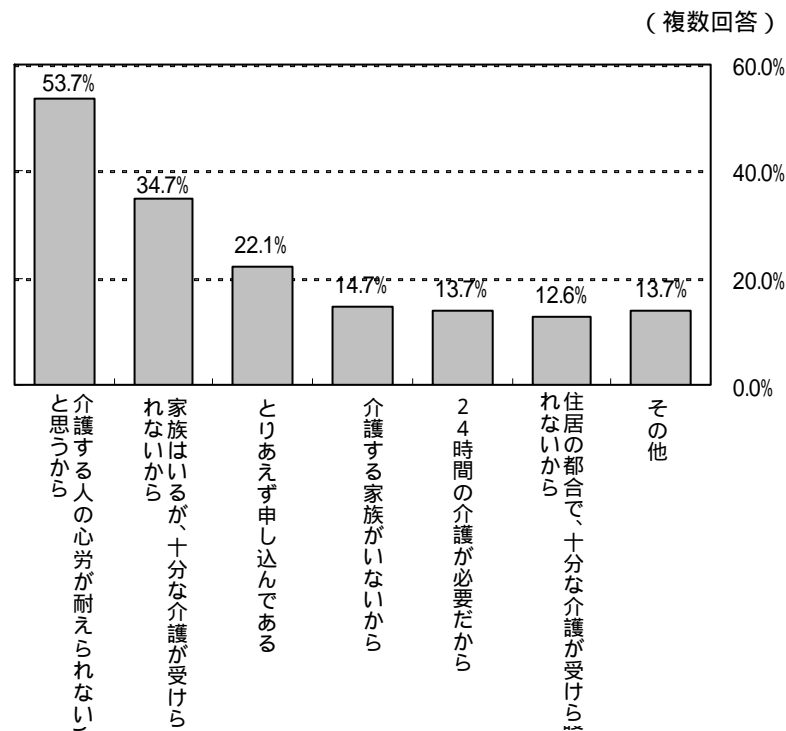
施設等への入所申し込み状況については、「申し込みをしている」人は10.4%となっています。

また、申し込みをしている施設の種類については、「介護老人福祉施設」が62.9%、「介護老人保健施設」が15.4%、「認知症高齢者グループホーム」が7.7%となっています。



施設等への入所希望の理由

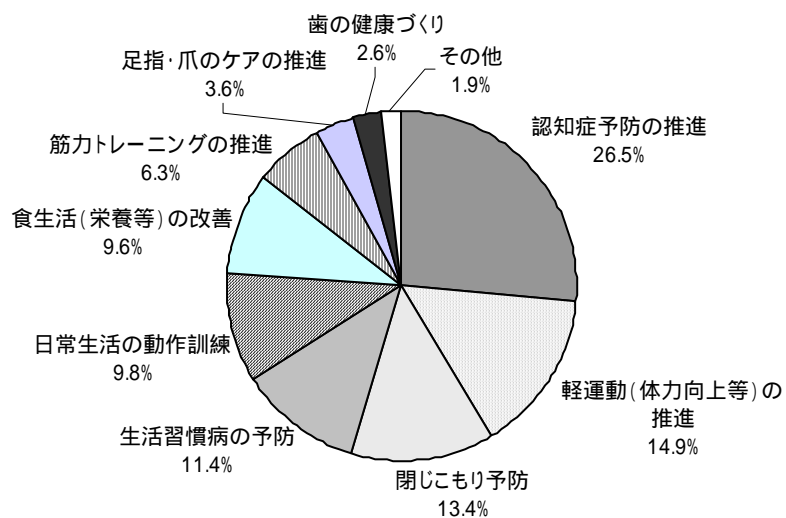
施設等への入所を希望する理由については、「介護する人の心労が耐えられないと思うから」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「家族はいるが、十分な介護が受けられないから」が 34.7%、「とりあえず申し込んである」が 22.1%となっています。



(4) 高齢社会への対応について

介護予防に関して力を入れてほしいこと

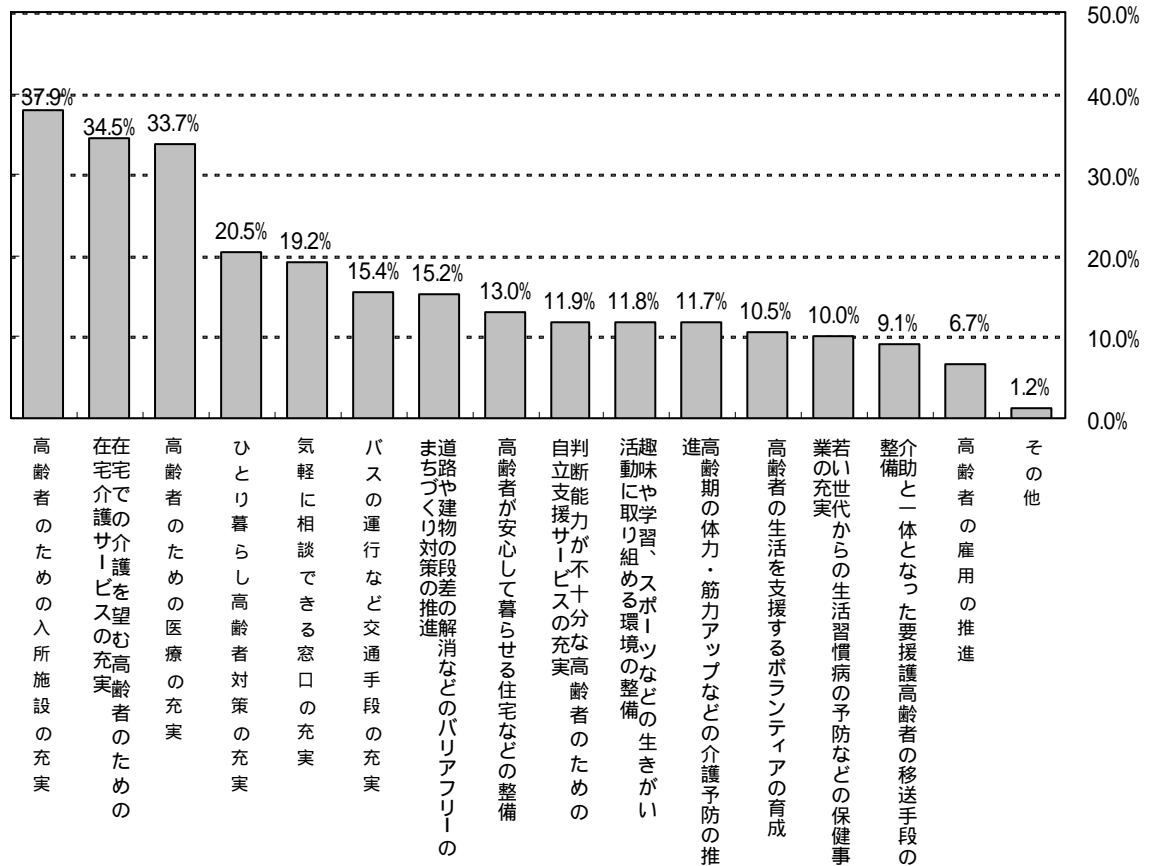
介護予防に関して、今後、市に力を入れてほしいことについては、「認知症予防の推進」が26.5%と最も多く、次いで「軽運動（体力向上等）の推進」が14.9%、「閉じこもり予防」が13.4%となっています。



高齢社会への対応

高齢社会に対応するため、国や市が力を入れるべきことについては、「高齢者のための入所施設の充実」が37.9%と最も多く、次いで「在宅での介護を望む高齢者のための在宅介護サービスの充実」が34.5%、「高齢者のための医療の充実」が33.7%となっています。

(複数回答)

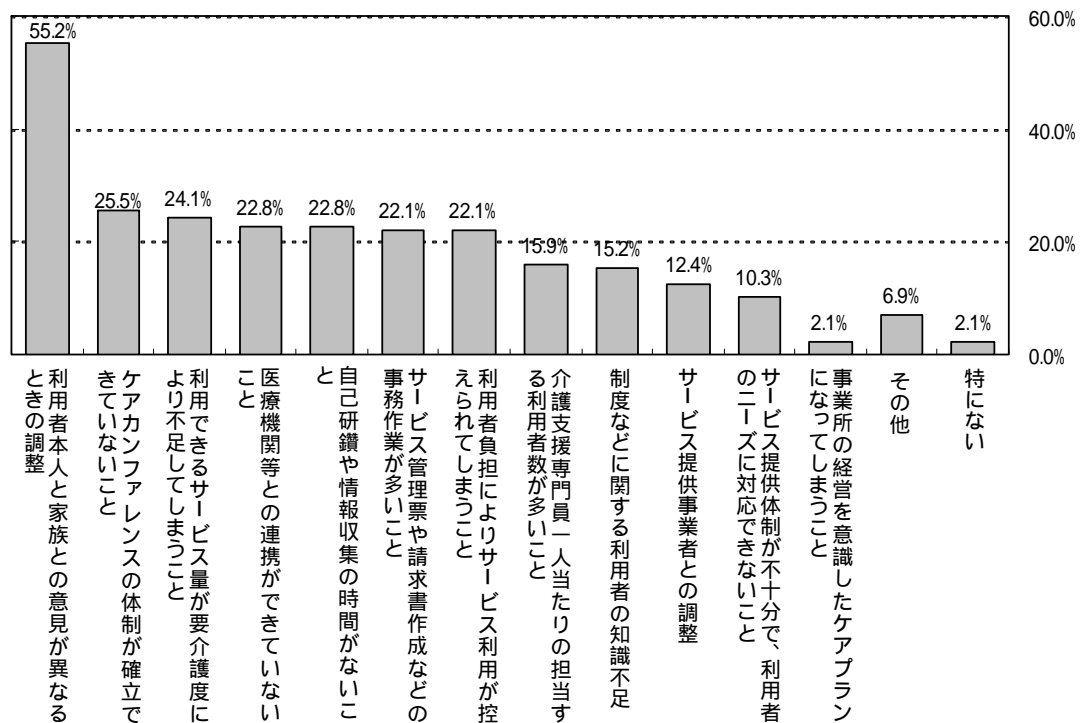


3 介護支援専門員調査結果の概要

ケアプラン作成時に困っていること

ケアプラン作成時に困っていることについては、「利用者本人と家族との意見が異なるときの調整」が 55.2%と最も多く、次いで「ケアカンファレンスの体制が確立できていないこと」が 25.5%、「利用できるサービス量が要介護度により不足してしまうこと」が 24.1%、「医療機関等との連携ができていないこと」と「自己研鑽や情報収集の時間がないこと」がともに 22.8%となっています。

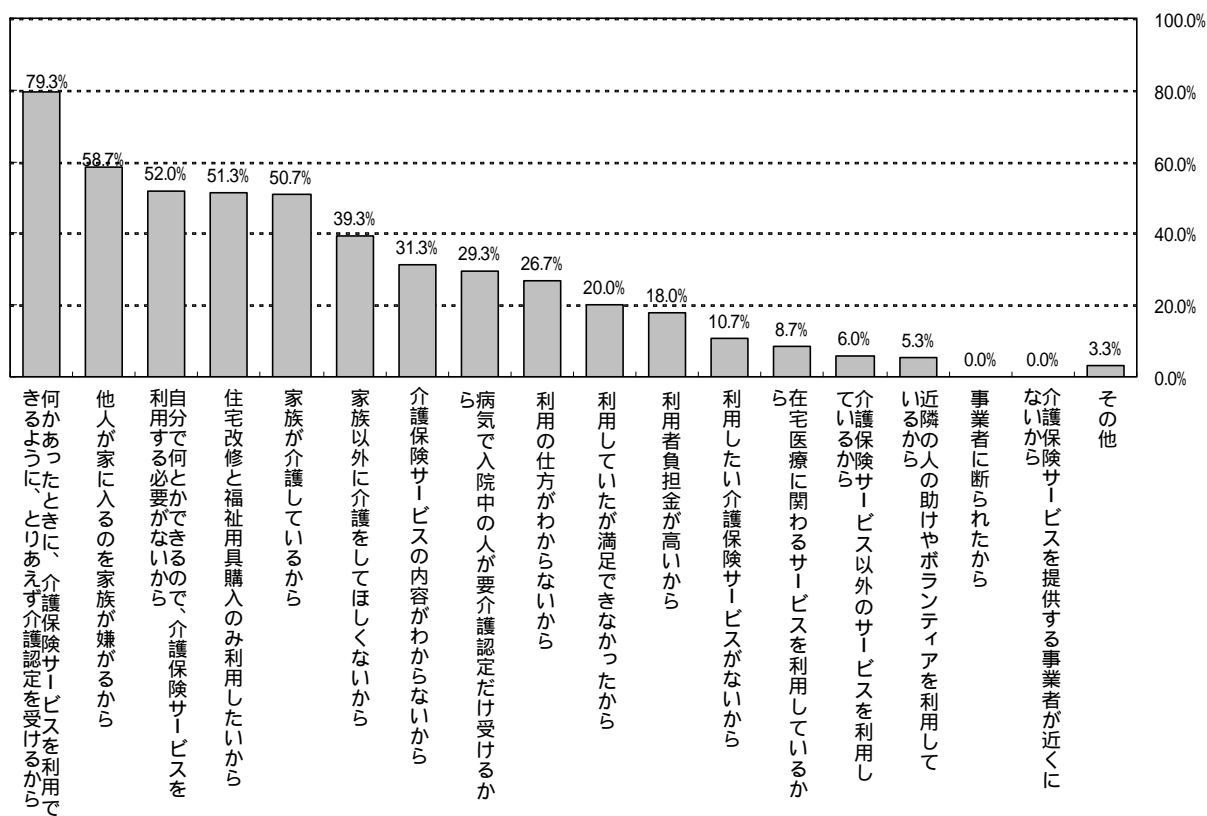
(複数回答)



介護サービスを利用しない理由

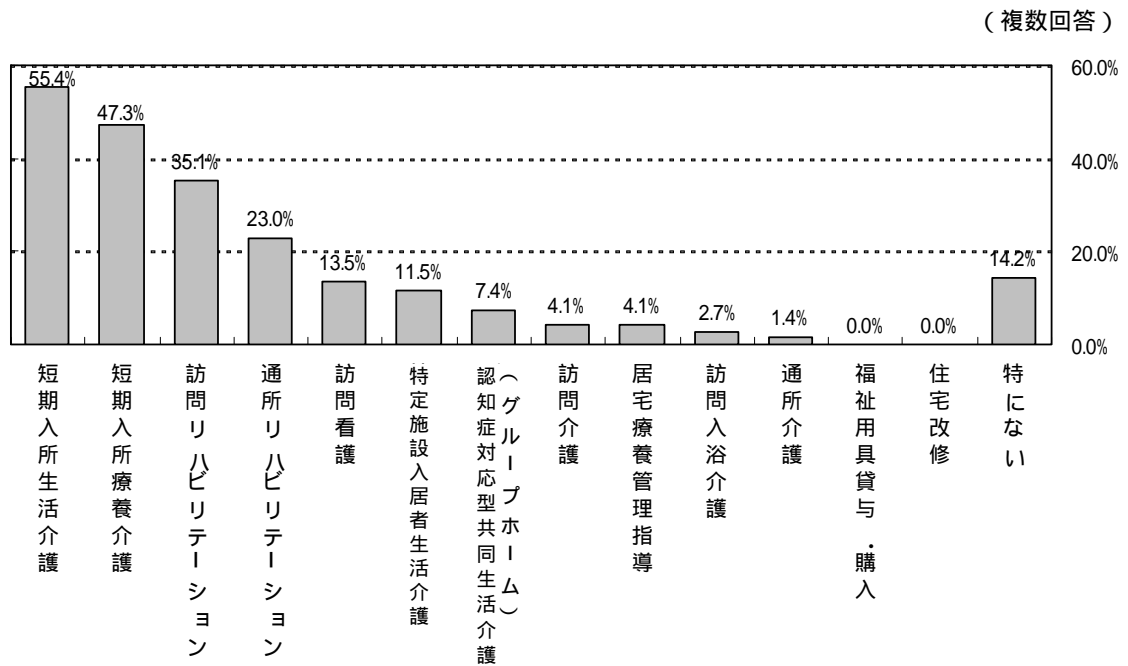
介護支援専門員から見た介護保険サービスを利用しない理由については、「何かあったとき（介護者の体力が低下したとき、緊急に必要なになったときなど）に、介護保険サービスを利用できるように、とりあえず介護認定を受けるから」が79.3%と最も多く、次いで「他人が家に入るのを家族が嫌がるから」が58.7%、「自分で何とかできるので、介護保険サービスを利用する必要がないから」が52.0%、「住宅改修と福祉用具購入のみ利用したいから」が51.3%、「家族が介護しているから」が50.7%となっています。

(複数回答)



供給が不足しているサービス

居宅サービスの中で供給が不足しているサービスについては、「短期入所生活介護」が 55.4%と最も多く、次いで「短期入所療養介護」が 47.3%、「訪問リハビリテーション」が 35.1%の順となっています。



介護保険外の効果的な福祉サービス

介護保険外の効果的なサービスについては、「食」の自立支援サービスが82.7%と最も多く、次いで「緊急通報システムの設置」が68.7%、「訪問理美容サービス」が64.7%、「健康診断書料の助成」が63.3%となっています。

